

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年2月17日		2025年2月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容に外出支援や買い物支援などを多く取り入れ、将来に必要な社会性や協調性を習得することができる。	季節や時期に適した行事計画を作成し、定期的な外出行事を取り入れるようにしている。 また、支援の中で小さな気づきを情報共有して児童生徒それぞれに適した社会性プログラムを立てて支援を行っている。	低学年から高学年の児童生徒に対し、社会性や協調性を習得するための活動内容を細かく検討して実施できるよう、全職員で定期的な専門的会議を行う。
2	学習の力をつけるための「学習支援」を取り入れている。	学年にかかわらず、それぞれの力に合わせて学習プリントを自作している。 たま、教員免許をもつ職員の提案やアドバイスを取り入れながら、適切な学習支援を行っている。	学校だけでは習得が難しい社会での計算(算数)を支援するための定期的な(計画的な)買い物支援や、看板等の読解(国語)の力をつけるための支援内容を計画する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他者(地域の人、児童クラブ)との交流が少ない。	利用児童、生徒の特性上、他者との交流が難しい。	地域や学童クラブとの積極的な話し合いや、交流についての対策などの検討。 利用児童の情緒や特性を細かく踏まえうえでの状況の整備。
2	有資格職員の確保。	専門的資格を有する職員を配置することで、より良い支援を行えるが、有資格職員の確保が難しい。	求人媒体を再検討する。 求人媒体を増やす。 賃金面や優遇等の検討。
3			